

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	102	主要な生活道路の整備推進					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	03	快適な生活環境づくり					
施策	02	人にやさしい道路、交通施設の整備					
事業内容							
目的	主要な生活道路を、歩行者が中心の安全で快適な道路とするとともに、消防活動困難区域解消のために道路の幅員等、防災機能の向上を図るために整備します。						
対象・手段	対象：主要な生活道路（地区内主要道路、主要区画道路）77路線 手段：モデル路線や拡幅目標を設定し、地区計画等いくつかのメニューを提案し、まちづくり施策と連携して整備を進めます。						
成果（事業が意図する成果）							
主要な生活道路を整備し道路幅員を広げることにより、歩行者の安全が確保され、快適な道路となります。また、主要区画道路の整備により消防活動困難区域が解消され、防災機能が向上します。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
主要な生活道路の整備	目標幅員を確保し、整備した路線	() 年度に					
		(77路線) の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値 1	路線	77.00	77.00	77.00	77.00	道路の拡幅は、時間がかかるため目標年次の設定はできません。
	実績 1	路線	24.00	24.00	24.00	24.00	
	= /	%	31.17	31.17	31.17	31.17	
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	整備方針案の検討 開発等による整備（施工中 北新宿（再開発）、市谷砂土原町（自費）等）						
平成18年度	整備方針案の検討 開発等による整備（施工中 北新宿（再開発）、市谷砂土原町（自費）等）						

部名称		都市計画部			課名称		都市計画課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	0		
	人件費	千円	6,670	6,670	6,670	6,624		
	事務費	千円	74	71	53	68		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	6,744	6,741	6,723	6,692		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	6,744	6,741	6,723	6,692		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	6,744	6,741	6,723	6,692		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.80	0.80	0.80	0.80		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>区が道路用地を買収して拡幅整備することは難しい状況です。しかし、歩行者の安全確保や、消防活動困難区域解消のためにも早期整備が求められており、まちづくり施策と一体となった整備手法の検討を行なう必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	再開発等のまちづくりの中で整備されつつある路線がありますが、道路のみでなく面的整備の中で事業を進めるため、目標達成には時間を要します。しかしながら、北新宿及び市谷砂土原町については、ほぼ計画どおり進捗しています。					
	効率性	2	まちづくり等の面的事業の中で道路を整備していくため、区財政を投入せず費用対効果の面で効率的ですが、事業が具体化するまで時間を要します。					
	実施の成果	2	まちづくり等の機会を捉え、必要となる道路整備を誘導していくことで、安全で安心な都市基盤を整備することができます。					
	行政の関与	3	道路の拡幅整備のためには、まちづくり等の面的整備の中で区が関与して誘導していく必要があります。					
	妥当性	2	歩行者の安全確保、消防活動困難区域解消のため、面的整備の中で道路を拡幅していくことは、必要です。					
	施策寄与度	3	早期に道路を拡幅していくことは、歩行者の安全確保や消防活動困難区域を解消し、人にやさしい道路整備に寄与するものです。					
総合評価	歩行者の安全確保や消防活動困難区域解消のため、大規模開発やまちづくり事業等の面的整備手法を活用した整備が必要であり、北新宿の再開発や市谷砂土原町の自費工事などすでにいくつかの路線が整備されつつあります。事業の進捗には時間がかかりますが、着実に成果を挙げていることは評価に値します。						B	
							過年度評価	
改革方針	生活道路の整備にあたっては、用地買収による整備では区の財政負担が大きいため、民間の大規模開発やまちづくり等の面的整備にあわせてなお一層推進していきます。						17年度 B 16年度 B 15年度 14年度	
							方向性	
						1	現状のまま継続	